



スピーチの発表の録画

相互評価フォーム

話すスピードはどうでしたか？
一つだけマークしてください。

良かった点

☐ 4 (適切だった)

回答を入力

☐ 3

改善した方がいい点 *

☐ 2

☐ 1 (適切ではなかった)

回答を入力

Google Formsでの相互評価

活用場面

一斉学習

教師による教材の提示

個別学習

個に応じた学習

表現・制作

協働学習

発表や話し合い

活用した機器等

Chromebook
プロジェクター
ビデオカメラ

活用したアプリ等

Google Classroom
Google Forms
Google ドキュメント

学習のねらい

- ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ・分かりやすさ・適切さ・敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。
- ・自分の考えが的確に伝わるよう、立場や考えを明確にするとともに、話の構成や展開を工夫することができる。

学習の流れ

導入
(2h)

- ・スピーチを学ぶねらい(実社会でどのように活用できるか)を理解する。
- ・複数のスピーチの例を見て、どのような話し方が効果的かを考える。
- ・スピーチをする上で、どのような手法があるかを調べ、まとめる。



知識・技能
を活用する

展開
(3h)

- ・スピーチ原稿の構成について学ぶ。
- ・Google ドキュメントを用いて原稿を作成し、ペアで読んだ感想を述べあい、推敲する。
- ・ペアでスピーチのリハーサルを行う。



互いの考え
を比較する

まとめ
(2h)

- ・スピーチを行う。(撮影する。)
- ・聞く側は評価を行う。
- ・自己のスピーチ動画と他者からの評価をもとに自己評価を行う。



粘り強く
取り組む

ここでICTを活用！

- ・読み原稿をGoogle Classroomを通じて提出させ、添削して返却した。
- ・スピーチに対してGoogle Formsで相互評価させ、その結果を生徒に返却した。
- ・スピーチを撮影し、動画を自己評価に活用した。

活用のメリット、実践の課題・振り返り等

- ・生徒の提出物の有無が瞬時に分かるため、業務軽減につながる。
- ・何度も書き直しができる。
- ・自分のスピーチを客観的にみることができる。
- ・自宅において、課題に取り組むことに慣れていない場合は、十分なサポートが必要である。
- ・Chromebookを忘れた場合は、進度に差が出るため、その対応策を準備しておく必要がある。